

見て、聞いて、触れて、高校生が地域の酪農・乳業を学ぶ

4月23日、綾部高校農業科1年生16名の校外研修を当所と綾部ミルクプラントで実施しました。

ほとんどの生徒が乳牛に触れるは初めてで、最初は大きな乳牛にとまどっていましたが、徐々に慣れ、酪農の一端を体験するとともに、綾部ミルクプラントで牛乳や乳製品の生産行程を見学し、中丹地域の重要な産業である酪農・乳業への理解を深めてもらいました。



初めて触れる乳牛に職員が手ほどき